

細野原発大臣に

「ふくしまの子どもたちを
放射能被害から守るための署名」



98,187 筆手渡して要請してきました！

9月から集めはじめた「子ども署名」は、“なくせ！原発10・30大集会”で5万を超え、その後も全国から署名が届き、12月13日(火)には98,187筆に！この署名を持って国会に行き、細野豪志環境相・原発事故担当相に手渡して「ふくしまの子どもたちを放射能被害から守って！」とみんなの想いを伝えてきました。

署名の要望項目の「県内全域の除染」や「迅速な内部被ばくの検査」などまったく進んでいかないことにイラダチ、とにかく年内に国に署名を届けたい！野田首相に直接手渡したい！と新婦人の中央本部にお願いし、「首相はダメだけど、細野大臣が会うって！」と返事をもらいました。でも、直前まで日にちや時間が決まらず、大臣室に入れるのは10人限定ということで、ホントは大勢で行きたかったけど…子どもチームを中心に福島・郡山から9人でいってきました。

30分でみんなの想いぶつけました！

大臣への要請の時間は20分！始まる前にみんなで一人1分ずつ「私はこれを訴える！」とシュミレーションして臨みました。

- ・ 保育園にも食品の放射能測定器を！測定する1kgの食材代も払って
- ・ 子どもを守るために親を守って！避難休暇制度などつくって
- ・ 自然豊かな中で保育してきたのにできなくなった…しっかり除染して！
- ・ また友達が避難…国が計画も予算も責任もって除染して
- ・ 40万・8万の補償金さらなる分断招く！全県民対象に
- ・ 事故から今まで何も変わってない！健康が心配…18歳以下医療費無料早く
- ・ 市町村と県と国の連携とれてない！連携して子どもを守って
- ・ 仮置き場や中間貯蔵施設など国が責任もって示して除染して！

細野大臣は、「みなさんの不安を取りのぞくのが政治の責任」といいながら、「除染も健康の問題も時間がかかる」と(-_-) 今すぐできる18歳以下の医療費の無料化も明言しませんでした…。避難区域の除染は国、それ以外は市町村でとしてきたが、線量が高いところは国が直接関与していきたい。といいながらも具体的な中間貯蔵施設の回答などもありませんでした。私たちに寄り添うつもりで？「私も震災から9月11日まで1日も休まず、一度も笑いませんでした」と???休んでもいいし、笑ってもいいからちゃんとやって!!とみんなの感想。9月11日になんで笑ったのか?気になる～

結果30分の懇談になりましたが、もっともっと声をあげていかないとい!!

福島県選出の国会議員に
紹介議員になってください！」と
要請行動びつくり発言続出！

4組に分かれて衆・参議員会館の議員を訪ねました！民主党の増子輝彦議員が「10・30集会に行けなくてごめんね」と紹介議員に！

民主党の渡部恒三議員は政策秘書さんの対応でしたが好感触！

民主党の女性議員は「民主党は紹介議員になれないことになっている」と。「エッ？増子さんはOKだったのに??？」

自民党の自衛隊出身の議員の秘書は「こういうのは共産党にもっていったらいいんじゃないの？」って(-_-)

民主党議員の部屋で対応した内閣府の人は「福島は全戸除染がはじまって、除染はすすんでるんでしょ」って。「ゼンゼンです！」とブルブル首をふってきましたが、どこからそんなデマが…

14人の議員のうちこの日OKだったのは増子さんだけでした。あとは、年内回答待ちですが、「オール福島」でいこうよ！と声を大にしてほしい!!

* 子どもチームブログ*

<http://fukushima-kodomoteam.seesaa.net/>

アクセスしてみてね！

